



あけましておめでとうございます 3学期も「KKJ」



新年あけましておめでとうございます。14日間の冬休み、子どもたちはクリスマスやお正月など家族と一緒に楽しく過ごすことができたようでした。冬休みの合言葉は「KKJ」でした。子どもたちが、いろいろな場面で「気づき・考え・実行した」結果、大きな事故、ケガ、病気等がなく3学期の始業式を迎えることができ、とてもうれしく思います。

さて、新年を迎えて子どもたちは気持ちを新たに、目標を立てたことだと思います。その目標・夢を実現するためには、ただ目標を立てたり、夢をもったりするだけではいけません。その実現に向けて、自分のよさを活かし、気づき・考え・実行することが大切です。

1月2・3日にあった「箱根駅伝」(往路107.5km 復路109.6km 全長217.1km)では、駒沢大学が大逆転で総合優勝をしました。最終10区にタスキが渡ったときは、1位：創価大学と2位：駒沢大学の差は、3分19秒もありました。3分19秒ということは、1km以上離れていることとなります。優勝した駒沢大学の八木監督も「優勝は無理、2位かなと思った」と言うように、観ているほとんどの人が、そのまま創価大学が優勝するだろうと思ったと思います。しかし、アンカーの石川拓慎選手は、「昨年同じ10区を走ったとき1秒差で8位になった悔しさを晴らすこと」「区間賞をねらうこと」を目標に、どんどん追い上げ、ついに残り2.1km地点で追い越しました。区間賞を獲得すると共に見事、チームの目標であった優勝を勝ち取ることができました。この優勝は、アンカーの石川選手一人の力でつかんだものではないと思います。優勝という大きな目標・夢に向かって、毎日きつい練習に耐え、努力を重ね、走った10人の選手だけでなく、給水係や補助員など、チーム全員が自分のよさを活かし、気づき・考え・実行し、役割を果たしたからこそ、優勝をつかむことができたのだと思うのです。

3学期は、学習発表会、学力検査、そして、6年生にとっては、小学校最後の授業となる卒業式もあります。3学期の合言葉も「KKJ」(気づき、考え、実行する)です。しっかり学年のまとめをして、新しい学年に向けて、何を考え、どう実行するかによって、一人一人の成長に大きな差が出ます。一人一人のがんばり、成長を楽しみにしています。

目標を目指してやり抜く強い意志

「行く手に大きな壁が立ちはだかっていたら、
その向こうに帽子を投げろ。」
というアイルランドのことわざがあるそうだ。

帽子を取るために、その壁を乗り越えなければならなくなる。
誰にでも目標や希望がある。
もう少しで達成できそうな目標、人生を賭けて挑戦する目標、
どれも生きていく上での大きな活力になる。

目標達成の満足感は、自信や更なる勇気をもたらす。
だが、大抵の場合、その過程でいろいろな壁にぶつかる。
そのとき、壁の向こうに希望を投げ込み、
それを超えていくという強い意志が、
人生を切り拓いていくのではないだろうか。

【私たちの道徳(文部科学省)より】

1月7日には、東京都の感染者が2000人を超え、1都3県に対して「緊急事態宣言」が発令されました。日常の生活がもどるまでにはもう少し時間がかかりそうです。

私は今年の抱負(願い)を「健」としました。自分や家族はもちろんですが、龍ヶ岳小学校の子どもたちや教職員も健康であってほしいと願っています。そして子どもたちが「健やか」に成長することを願っています。

今年も龍ヶ岳小学校へのご協力をお願いいたします。